

## 小松市教育目標

生涯学習時代にふさわしく、人間愛を礎とし、自発的に学び、文化を創造し、思いやりの心を持った、明るく元気あふれる市民の実現をめざす。

### 第1章 自然に親しみ、人間愛を育てる。

- 1 人権を尊重し、敬愛と感謝の心を育てよう
- 2 自然や限りある資源を大切に、住みよい環境をつくらう
- 3 社会参画をすすめ、市民としての自覚を高めよう

### 第2章 すこやかな心とからだを育てる。

- 1 かけがえない命を大切にしよう
- 2 スポーツやレクリエーションに親しみ、健康増進につとめよう
- 3 忍耐力を培い、自立の心を育てよう

### 第3章 高い知性と創造性を育てる。

- 1 自ら学ぶ意欲を養い、思考力と表現力を伸ばそう
- 2 科学的な探求心を深め、正しい判断力を育てよう
- 3 歴史と伝統を重んじ、文化の継承と創造につとめよう

### 第4章 広い視野に立って、郷土愛を育てる。

- 1 ふるさとに親しみ、豊かな情操を育てよう
- 2 勤労と奉仕を重んじ、連帯感を深めよう
- 3 広く海外との交流をはかり、国際性を高めよう

平成23年度

学校経営計画及び学校評価計画書

小松市立 国府中学校  
学校長 中村 茂

## 1 経営理念

自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる能力の育成を図るとともに、基礎的・基本的な内容の指導を徹底し、生徒一人ひとりを生かす教育の充実に努めることで、人間形成の土台となる「確かな知性」「豊かな感性」「健やかな心身」の育成を目指す学校づくりを励行する。

## 2 教育目標

「 気づき・考え・実行する生徒の育成 」

## 3 中・長期経営目標

### (1) 学校の現状

- ① 生徒は素直で純朴であるが、1小学校1中学校のため友人関係がともすれば固定化される傾向がある。
- ② 学習に対しては意欲・向上心をもって取り組んでいるが、問題解決のために必要な思考力・判断力・表現力がまだ不足している。さらに視野を広め、自己表現力を磨くための機会や場所を積極的に設定していく必要がある。家庭学習の計画的な取り組みがまだまだ低い。
- ③ 特別支援や配慮を要する生徒へは、教職員相互の理解と連携をもって支援しているが、外部機関や保護者との連携も含め、さらにきめ細かな生徒指導体制を確立していくことが必要である。
- ④ 部活動の活性化に努めているが、近年、生徒・保護者の希望が多様化しており、地域クラブ等に加入する生徒が増加してきている。クラブ指導者と連絡を密に取り合い、生徒の健全な活動を支援する。

### (2) 生徒に関する目標

- ① 自然や自他の命を尊び、豊かな感性と温かい人間性を備えた生徒の育成。
- ② 互いの違いを認めながら、人との繋がりを大切にすることのできる生徒の育成。
- ③ 礼節を備え、健康や体力増進に努めるたくましい生徒の育成。
- ④ 学ぶ意欲を持ち、主体的に学習する生徒の育成。
- ⑤ 集団としての規律やルールを守り、協力や共同の営みを大切にす生徒の育成。

### (3) 教職員・学校組織等の望ましい在り方

- ① 誠意や熱意を持ち、最後まで辛抱強く生徒に接して、信頼される教師を目指す。
- ② 生徒の良いところを生かす活動の場の提示を心がけ、心の居場所づくりに努める。
- ③ 生徒の学ぶ意欲を喚起し、学力の定着につながる確かな指導力と専門性を備えるよう研鑽を積む。
- ④ 共通理解と相互の協力のもと、教育目標の実現に向けて、常に組織体として教育活動を営むように努める。
- ⑤ 危機管理意識の徹底と教育環境の整備を心がけ、安全で安心できる学校づくりに努める。

#### 4 短期経営目標（今年度の重点目標）

##### ① 組織的な学校運営

- ・主任等のリーダーシップの下、各分掌が建設的な企画・立案を提示し、相互の協力のもと組織的に実践し事後の反省が生かせる体制を確立する。
- ・豊かな人間性と、教えるプロとしての確かな指導力と専門性を備えるよう研鑽を計画的・継続的に積む。
- ・総合的な学校安全計画の実践により、安心して学べる教育環境づくりを進め、計画の検証・改善を図る。

##### ② 確かな学力の育成

- ・生徒一人ひとりが意欲的に取り組めるための学習課題の設定や授業展開など、「学び合い」を活かした授業改善プランを策定し、生徒の主体的な学習への関心・意欲を高める。
- ・自学ノートの活用を中心に、生徒一人ひとりの学習内容が充実するように、保護者とも連携し家庭学習の習慣化を図る。
- ・小学校との連携や実態把握をしながら、学力向上プランの具体的な取り組みの推進に努め、めざす生徒像達成を目指す。

##### ③ 豊かな心の育成

- ・学級を基盤に、それぞれが自己有用感をもち、互いに学び合い、認め合い、高め合う質の高い集団づくりを進める。
- ・人間としての生き方についての自覚や道徳的心情を豊かにし、道徳的判断力を深める。
- ・生徒の主体性を引き出しながら企画を進め、達成感・充実感がもてる生徒会活動・委員会活動を進める。
- ・良好な人間関係を築いていくための基となる「子どもの良いところ」を保護者と学校が共有し、やる気を育てることで、互いの信頼関係の構築を目指す。

##### ④ 健やかな体の育成

- ・自らの体について知ることにより健全な心身の成長をめざすことができるよう、学活、保健体育、思春期講座等の連携を図る。
- ・体力アップ1校1プランの実践を通し、運動の機会が増え、仲間とともに運動する楽しさが味わえるようにする。

##### ⑤ 家庭と地域の連携

- ・保護者との良好な関係の構築を基盤に、生徒の自主性を促し、成長を共に支えていくPTA活動を推進する。
- ・地域教材、外部人材の有効な登用法と成果の検証を進める。
- ・情報公開、学校公開の一環として、ホームページの充実を図る。

小松市立国府中学校 学校評価計画

自 己 評 価				
	評価項目と具体的取組	評価指標	達成度判断基準	備考
① 組織的な 学校運 営	〈組織的な学校運営の体制〉 運営委員会をはじめ各委員会や部会が計画的に設定され、縦横の連絡調整が図られた中、相互の協力を活かした取り組みを進めていく。	【努力指標】 各委員会・部会の開催が計画どおり開催され、組織的な学校運営が進められる。	各責任者のもと、学校全体が組織的・機能的に動いていると感じる教職員の割合が A：100% B：90%以上 C：80%以上 D：70%未満	主担当：教頭  評価方法：教職員アンケート  実施時期：7月、12月
	〈職員の研修・研鑽〉 講師を招聘し、一人一回以上研究授業を実施し、校内研修会を行う。夏季休業中を中心に各種研修会に積極的に参加し、研鑽に努める。	【努力指標】 一人一回の研究授業を定設し、校内研修会の活性化を図るとともに、各種研修会に積極的に参加する。	研究授業を実施するとともに夏休み等に各種研修会に2回以上参加した教職員の割合が A：100% B：90%以上 C：70%以上 D：70%未満	主担当：教務部  評価方法：教職員アンケート  実施時期：7月、12月
	〈安心して学べる教育環境〉 総合的な学校安全計画を教職員に周知するとともに、定期的な危機管理訓練を行うことで、災害や事故等の発生時に適切な対処・連絡体制をとることができるようにする。また、登下校時の交通安全指導やマナー指導は、機会を逃さず年間を通して継続的に取り組む。	【努力指標】 生徒及び教職員の危機管理訓練が定期的かつ計画的に行われ、適切な対処・連絡体制がとれる。	危機管理訓練及び交通安全指導が継続的かつ効果的に行われ、成果が表れていると感じる教職員の割合が A：100%以上 B：90%以上 C：80%以上 D：80%未満	主担当：生徒指導部安全指導  評価方法：教職員アンケート  実施時期：各訓練終了後 7月・12月
② 確かな 学力の 育成	〈生徒の主体的な学びの追求〉 生徒の主体的な学びのある授業づくりを追求するために、言語活動の充実を踏まえた思考力・判断力・表現力を育成する場を設定した授業改善プランを策定し、学び合いのある授業づくりに取り組む。	【成果指標】 言語活動を取り入れた授業計画と学び合いのある授業構成を考えた授業づくりに取り組める。	目指す授業づくりへの授業改善や指導力向上への取り組みを進めている教職員の割合が A：100% B：90%以上 C：80%以上 D：80%未満	主担当：教務部  評価方法：教職員アンケート  実施時期：7月、12月
	〈家庭学習の習慣化〉 自主学習ノートの効果的な使い方の指導や継続することの価値付けを行う。学担と教科担当の連携を積極的に行い、適切なアドバイスをしていく。また、点検の際に成熟感や意欲を持たせるコメントなどを記入する。	【成果指標】 毎日、家庭学習を継続的に取り組むことができ、宿題や自主学習ノートの提出ができていく。	毎日、継続して自主学習ノートに取り組む生徒の割合が A：100% B：90%以上 C：80%以上 D：80%未満	主担当：教務部  評価方法：生徒アンケート  実施時期：7月、12月
	〈学力向上プランの推進〉 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着や、知識・技能を活用するために必要な思考力・判断力・表現力の育成を図り、目指す生徒像への達成を追求する。	【成果指標】 学力向上プランであげた「目指す生徒像」への数値目標を達成することができる。	目指す生徒像に結びつくアンケート結果の平均数値が A：90%以上 B：75%以上 C：50%以上 D：50%未満	主担当：教務部  評価方法：生徒アンケート  実施時期：7月、12月
③ 豊かな 心の 育成	〈質の高い集団づくり〉 学級を基盤に、それぞれが自己有用感を持ち、互いに学び合い、認め合い、高め合う質の高い集団づくりに取り組む。	【満足度指標】 学年に応じた自覚と責任を持ち、集団の一員として行動がとれる生徒。	集団の一員としての自覚を持ち、質の高い集団づくりのために責任を果たすことができたと感じる生徒の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	主担当：教育相談  評価方法：生徒、保護者アンケート  実施時期：7月、12月
	〈道徳教育の実践〉 道徳の時間の内容を工夫・充実させ、学校教育活動全体を通じて、道徳的な心情・判断力・実践力を高めていく	【成果指標】 計画的に実践を重ね、積極的な授業研究に努めることで、生徒の道徳的心情の高まりを促す。	人間関係作りや生き方などについて深く考えるようになった生徒の割合が A：70%以上 B：60%以上 C：50%以上 D：50%未満	主担当：道徳教育推進教師 各学年道徳担当  評価方法：生徒、職員アンケート  実施時期：7月、12月
	〈主体的な生徒会活動の推進〉 役員を中心に、各専門委員会がそれぞれ生徒会の目標にあった一大事業や取り組みを考え、協力しながら日常活動・月別活動に責任を持って運営できるようにする。	【満足度指標】 役員会・各専門委員会が一大事業を考え、分担・協力して自分の役目に積極的に取り組んでいる。	委員会活動に積極的に取り組めたと感じる生徒の割合が A：90%以上 B：70%以上 C：50%以上 D：50%未満	主担当：生徒会担当  評価方法：アンケート  実施時期：7月、12月
	〈信頼関係の構築〉 Q-Uテスト分析、「我が子のよいところ」、ふれあい週間等の面談の活用、特別に支援が必要な生徒への配慮、教育活動全体でのふれあい(日頃の声かけ)など、積極的な生徒理解と支援に努める。	【努力指標】 年2回のQ-U実施と分析や面談、校内研修での情報交換を通じて生徒理解、生徒との関係づくり、支援に努める。	面談や家庭訪問、日頃の声かけ、教育活動などを通して生徒理解に努め、生徒と良好な関係が築けていると感じている教職員が A：90%以上 B：80%以上 C：50%以上 D：50%未満	主担当：人権教育担当  評価方法：アンケート  実施時期：7月、12月

④ 健やかな体の育成	<p>〈健全な心身の成長〉 保健行事や授業等を通して、生徒が自分の健康問題に気づき、心身の健康に対する自己管理能力を向上できるように努める。</p>	<p>【成果指標】 生徒が自分の健康に関心を持ち、疾病の予防や治療に努めようとする。</p>	<p>疾病の治療率が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満</p>	<p>主担当：保健 評価方法：保健室での集計結果 実施時期：毎学期末</p>
	<p>〈体力アッププランの実践〉 新体力テストの結果を各自が踏まえ、課題の克服に向けて努力する。授業最初のランニングやトレーニングを積極的に取り入れ、基礎体力の向上を図る。</p>	<p>【満足度指標】 個々に応じた目標を持って意欲的に参加し、技能向上を目指す。</p>	<p>意欲的に参加し、楽しいと感じる生徒の割合が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>主担当：保健体育担当 評価方法：アンケート 実施時期：7月、12月</p>
⑤ 家庭・地域との連携	<p>〈家庭との連携〉 生徒への指導や保護者からの相談などに誠意を持って適切に対応し、家庭との連携を深め、良好な関係のもと教育活動の成果をあげていく。</p>	<p>【満足度指標】 保護者が、教職員は誠意を持って生徒に接し、適切に対応しようと努めてくれていると感じる。</p>	<p>関連した保護者アンケートの結果が総合して A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満</p>	<p>主担当：教頭 評価方法：保護者アンケート 実施時期：7月、12月</p>
	<p>〈地域人材等教育資源の活用〉 教育力の高い地域の特性を生かし、教育活動の中に地域の人材や教育資源の活用を図っていく。</p>	<p>【満足度指標】 授業や学校行事などに、地域の有用な人材や教育資源の積極的な活用を進める。</p>	<p>地域の人材や教育資源を活用した回数が学期に A：12回以上 B：10回以上 C：8回以上 D：7回未満</p>	<p>主担当：文化部 評価方法：アンケート 実施時期：7月、12月</p>
	<p>〈情報公開〉 学校理解のため積極的な情報公開に努めたり、地域の学校という観点のもと、地域や保護者との関わり合いについての情報を発信し、信頼される学校作りを目指す。</p>	<p>【努力指標】 HPを積極的に更新し、学校でのできごとや学校評価に関わる情報、地域との関わり合いについての情報を積極的に掲載する。</p>	<p>ホームページの更新頻度が A：1ヶ月に2回以上 B：2ヶ月に3回以上 C：1ヶ月に1回以上 D：1ヶ月に1回未満</p>	<p>主担当：情報担当 評価方法：担当者による申告及び管理職による確認 実施時期：9月・2月</p>